

染 香

ぜんこう

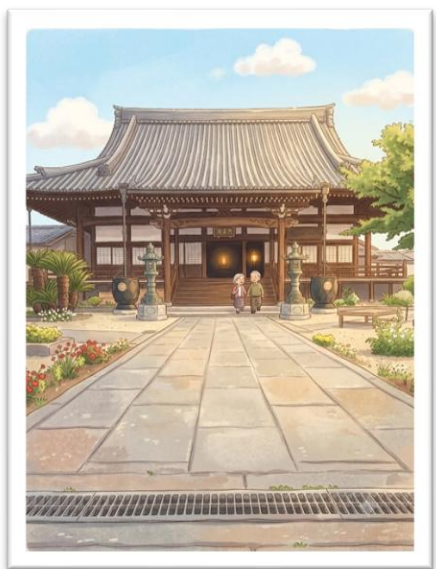
福 泉 寺 寺 報
令和8年7月
第 144 号
毎月 1 日発行

お寺で葬儀がありました

先月、お寺で葬儀をいたしました。
ご門徒さんのご希望でした。
葬儀会社の深品葬祭さんのお手伝いによつて、お母様を病院からお寺の会館へお迎えし、通夜・葬儀の日程を決めました。
ひと通りの段取りが落ち着いたところで、ご家族に「お寺での葬儀」を選んだ理由を訊ねました。

「身内だけで簡単にしようと思ひ…」

日程は、翌日通夜で、翌々日葬儀となり、ご当家人には、二泊過ごしていただきました。



簡単ではなかったけれど

全てが終わって、おそらくご満足はいただけたかと思いますが、実は、意に反して結構大変だったと思います。でも、この「大変さ」こそいいのだ、ということを書こうと思います。

ホームページ



おて LINE



Facebook



「不利益（ふべんえき）」。この言葉は、京都大学の情報研究科教授の川上浩司先生という方の学生時代、ゼミの片井修教授が「これからの時代は、不利益やで」といったことから生まれたそうです。これは、「あえて手間や不便を残すことで、逆に得られるメリットや楽しさ、成長、愛着などの価値」を指します。一九九〇年代ころから提唱されているそうです。

福山市でも「直葬」の話を時々聞きます。

家族の形がさまざまですので、どれが正しいかは言えません。

でも、こと人との別れに際しては、その人と関わっただけの「手間」や「醸成」が、残された人の「生きている間に感じる色々な価値」に大きな影響を与えるように思います。

逆に言えば、時間的経済的に効率を求める、と思わぬ“代償”があることもあると知っておくことは好都合なことのように思います。

私としても大変でしたけど、いつもよりも多くの時間や場面を共に過ごせたことは、何よりの宝です。

翌日、朝のお勤めに奥さまが参られて、本当にありがたいひとときでした。

（住職）

真宗用語の基礎知識



【称える】

浄土真宗は南無阿弥陀仏を「となえる」宗教ですが、漢字では「称える」と書きます。

一般には「唱える」ほうが馴染みやすいかもしれませんが、次のように味わってみてください。

「唱える」…わたしの願いを聞いてもらう

「称える」…仏さまの願いを聞かせていただく

仏さまにも願いがあるのですね！その願いを、一生をかけて聞かせていただくのが、ありがたいこともあり、大変でもあり、愉しくもあり…ある意味「不利益のたしなみ」です…。



ち ょ っ と あ た ま の

こ り ほ ぐ し

満員電車なのに、余裕で毎日座れる人

がいます。それはどんな人？

こたえは裏面です



おてらより

★お盆法要

8月16日（日）午前10時～12時ころ

●対談「医療と仏教」

●のじまホームクリニック院長

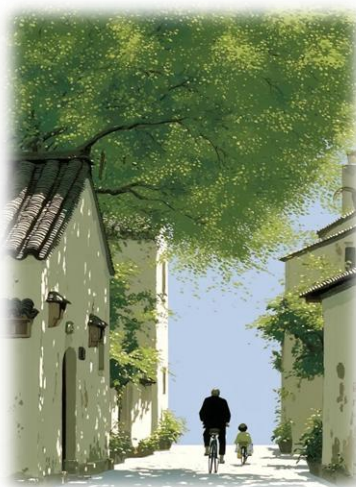
野島洋樹先生

中国中央病院緩和ケア認定看護師

田原由季先生

と、住職

●初めての試みです。医療と仏教は、大変調和しやすい世界です。ぜひ楽しみにしてください。



★秋のお彼岸・永代経法要

9月20日（日）午後12時～4時半

●お勤め…仏説阿弥陀経

●ご法話…三木 秀海 師

倉敷市菰池

真宗興正派 住職

●納骨堂勤行

本堂にお舍利さんを納めておられるご家族皆さまへ、ぜひお参りください

